**第４学年国語科学習指導案**

日　時：平成３１年２月２２日(金)５校時

児　童：港区立高輪台小学校　第４学年３組　　２８名

担　任：港区立高輪台小学校　主幹教諭　　田端　芳恵

指導者：豊島区立豊成小学校　主任教諭　　松波　智恵

**１　単元の目標**

　○　校内の場所に、人々の思い・願いやその場所の特徴、言いやすさを考慮した名前（愛称）を考えることにより、言葉には思いや願いを伝える働きがあることに気付く。

**２　単元の評価規準と学習活動に即した具体的な評価規準**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | **ア 知識・技能** | **ウ 主体的に学習に取り組む態度** |
| **単**  **元**  **の**  **評**  **価**  **規**  **準** | 名前には、そのものの特徴を表すもの、人々の思いや願いが込められているものがあり、言葉には思いや願いを伝える働きがあることを理解している。 | 校内の場所の名前を考えるという活動に関心をもち、思いや願いを込めた名前を付けようとしている。 |
| **学**  **習**  **活**  **動**  **に**  **即**  **し**  **た**  **具**  **体**  **的**  **な**  **評**  **価**  **規**  **準** | ①名前は、人々の思いや願い、特徴を表していることや、言いやすさ覚えやすさを考慮して付けられていることに気付いている。  ②思いや願い、特徴を考慮した言葉を選び、言いやすさ、覚えやすさを確かめながら名前を考えている。  ③思いや願いが伝わるようにより適した言葉を探したり選んだりしている。 | ①場所やキャラクターに付けられた名前に関心をもって、名前を付けようとしている。  ②名前を付けることに関心をもって、学習計画を立てようとしている。  ③校内の人々の場所に対する思いや願いに関心をもって、取材しようとしている。  ④言葉の働きを意識して、自身の言葉の選び方や使い方を考えようとしている。 |

**「本単元で培うことができる思考力・判断力・表現力」は、以下の通りである。**

**・インタビューをして、情報を集める力。**

**・自分の表したい事柄や目的に合わせて言葉を選択する力。**

**・比較したり、関連付けたりして言葉を選択する力。**

**・言葉の意味や伝わり方を考えて話したり書いたりする力。**

**単元の学習全体を通して、これらの力を培うことができるように学習活動を計画した。**

**３　単元構想**

　(1) 児童について（児童観）

本単元の学習に取り組むにあたり、事前に本学級２７名を対象にアンケートによる意識調査を行った。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| １ | 図工の作品などに題名を付けるとき、よく考えたり工夫したりして付けていますか。 | | | | |
| はい  １７名（６３％） | どちらかといえばはい９名（３３％） | | どちらかといえばいいえ  １名（４％） | いいえ  ０名（０％） |
| ２ | ペットやキャラクター、持ち物等に名前を付けたことはありますか。 | | | | |
| はい２０名（７４％） | | いいえ７名（２６％） | | |
| ３ | 自分の名前の由来（理由、名前に込められた願いなど）を知っていますか。 | | | | |
| はい１０名（３７％） | | いいえ１７名（６３％） | | |
| ４ | もし、４年３組の教室に「４年３組教室」以外の名前を付けるとしたら、どんな名前を付けますか。  ２３名（８５％）回答  ・「楽しい」という言葉が含まれた名前（「楽しい４年３組」等）８名（３０％）  ・「楽しい」以外の肯定的な表現が含まれた名前（「４年元気組」等）５名（１８％）  ・否定的な表現が含まれた名前（「うるさい教室」等）３名（１１％）  ・その他（４年３組の順番を変えたもの、学級の人数、歴史上の人物、キャラクター名等）  ７名（２６％） | | | | |

図工の作品の題名は多くの児童がよく考えたり工夫したりして付けている。自分のペットやキャラクター、持ち物等に名前を付けたことのある児童が多く、「シロ」「ゴールド」等の色に関する名前や「チュチュ」等鳴き声に関する名前、「プリン」「トマト」等見た目の様子から連想されるものの名前を付けている。自分の名前の由来を知っている児童は半数に及ばず、４年３組の教室の名前を付けてみたアンケート結果からも、名前が思いや願いを込めて付けられることを知らない児童が多いことが予想される。本単元では、こうした実態を踏まえて、そのものの様子や特徴だけでなく、思いや願いを込めて、長く使ってもらえる名前を付けることを意識できるように、学習を計画する。

(2) 学習材について（学習材観）

私たちの身の回りには、人の名前や商品名、場所の名前のように、数多くの固有名詞（以下、名前と記す）がある。名前には、そのものの特徴が端的に表され、付けた人の思いや願いが込められているものが多い。さらに、長年多くの人に親しまれる名前には、言いやすく覚えやすいものがたくさんある。よって、名前を付ける活動（ネーミング）を行う際には、対象の特徴や対象への自分の思いや願いを端的に言葉に結び付ける必要がある。多くの思いや願いを受けて名前を付ける際には、思いや願いを１つに絞ったり、まとめて言い換えたり、さらに適した言葉を探したりすることも必要となる。名前の由来を知ったり、名前を付けたりする活動を行うことで、言葉には、思いや願いを伝える働きがあることに気付くことや、言葉を吟味する必要性に気付くことができる。また、名前を付けることで名付けた対象への愛着も増す。

高輪台小学校は、２月に８４周年の開校記念日を迎える。それにちなみ、１月には校内の場所に付ける名前の募集が行われる。４月から高学年になり、学校の中心となって働くことになる４年生の児童が、これから先の高輪台小学校のことを考えて名前を付ける機会を得ることで、高輪台小学校により一層親しみをもったり愛着を感じたりしてほしいという教師の願いもある。

以上の理由から、名前と高輪台小学校を学習材とすることとした。

　　　　出合いの学習材としては、次の４つの名前を提示する。身の周りには長く呼ばれ続ける名前があることや、そのものの特徴が表れていること、人の思いや願いが込められていること等に気付かせ、名前を付けることへの興味を高めていくことを意図している。

①イメージや願いが表現された名前「みつばち保育園」「愛星保育園」等

港区内高輪地区にある私立保育園の名前である。「みつばち」「愛星」から、園児のかわいらしさを感じ取ることができる。

②長く呼ばれ続ける高輪台小学校の近隣の坂の名前「伊皿子坂」

　　「伊皿子坂」（いさらござか）は、江戸時代の外国人の呼称「エビス」「イベス」から、当地に来日した外国人は自らを「伊皿子（いびす）」と名乗ったことに由来する。地名は、その場所の特徴、歴史を長く後生に伝えている。

③人の願いが込められ、未来へとつながる名前「ミライトワ」と「ソメイティ」

オリンピック・パラリンピックのキャラクターの名称。「ミライトワ」には、「素晴らしい未来を永遠に」という願いが込められ、「ソメイティ」には、桜を愛でる日本の心とパラリンピック選手の素晴らしさを印象付ける意図がある。

④児童が考えて付けたもので、大切にされてきた名前「希望の丘」

葛飾区立高砂小学校の校庭にある築山の名前。昭和４９年に代表委員会の児童により名付けられた。当時築山の木々は多くなかったが、毎年植樹され、現在では１００本以上の木が植えられている。

新学習指導要領との関連

「知識及び技能」（１）言葉の特徴や使い方に関する事項

ア　言葉には，考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くこと。

オ　様子や行動，気持ちや性格を表す語句の量を増し，話や文章の中で使うとともに，言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し，語彙を豊かにすること。

　(3) 単元について（単元観）

児童が言葉について考えることを通してその特性に気付き、言語感覚を養うことができる学習をしたいと考え、本単元を設定した。本単元では、人々の思い・願いやその場所の特徴、言いやすさを考慮した名前（愛称）を自分たちで考える活動を通して、児童一人一人が言葉の働きについて理解し、日常生活の中にある言葉と人々の思いや願いとのつながりに興味がもてるようにしたいと考えた。

校内の場所（玄関や校庭の階段、芝生）に名前を付けることで、言葉の働きに迫る。まず、身近な名前や人名から、名前には、そのものの特徴を表している、言いやすい・覚えやすい、人々の思いや願いが込められている等の特徴があることを捉える。その後、校内の場所に名前を付けるために、友達や教職員へインタビューしながら、その場所の特徴や、思いや願いを収集する。そして、みんなの願い、その場所の特徴、場所を表す言葉等も付け加えながら名前を考え、友達との話合いを経て名前を付ける。友達との対話を通して思いを表すために選択した言葉の違いや予想していた伝わり方との違いを知ったり、より思いや願いが伝わるように言葉を吟味したりする活動を通して、正誤・適否・美醜といった言語感覚を養うことができると考えた。

名前を考える際、「場所への思いや願い」「その場所の特徴」「言いやすさ、覚えやすさ」を考慮した名前として、「場所への思いや願い」に場所を表す名前を付け加えた名前、「その場所の特徴」に場所を表す名前を付け加えた名前を考えた後、声に出して「言いやすいか、覚えやすいか」を吟味させるようにする。

相手への伝わり方を意識し、より適切な言葉を選ぶ言葉の使い手を育てていきたい。

**４　研究主題に迫るために**

　本単元における主体的な学び・対話的な学び・深い学びの姿を、以下のように考える。

【主体的な学び】…名前を考えることへの興味・関心を高め、自分で考えながら学びを進めていく。

　・校内の場所に名前を付ける学習活動を考え、計画している。

・対象（場所）への他者の思いや願いを調べようと、すすんで相手を選択しインタビューをしている。

　　・言葉への興味・関心を広げたり、自分自身の言葉の使い方を振り返ったりする。

　【対話的な学び】…人とのやり取りを通して、思いや願いの込められた言葉に関する気付きを深める。

　　・友達や教職員など様々な人にインタビューを行い、場所に込められた思いや願いへの理解を深めている。

　　・思いや願いを基に名前を考え、話し合う中で、言葉のもつ働きや特性に気付いている。

　【深い学び】…言葉に込められた思いや願いがあることに気付き、言葉を吟味する。

　　・思いや願いを込めて付けられた名前を知ったり、自分たちで特徴や思いや願いを込めた名前を考えたりする活動を通して、名前や言葉に込められた思いや願いに気付いている。

・場所の特徴、思いや願いが伝わるように考慮しながら言葉を選択する必要があることに気付き、より適切な言葉を探して名前を付けようとしている。

・言いやすさ、覚えやすさを意識して言葉を選択している。

　　これらの実現のために、以下のような工夫をする。

(1)単元づくりの工夫と柔軟な学習過程

　【出合う】

　　　導入では、思いや願いを込めて付けられた名前を提示し、名前に興味・関心をもたせる。

本校は、２月に開校記念日があり、開校記念集会が開かれる。「高輪台小学校がこれまで８４年続いてきた歴史を引き継ぎ、これからも多くの人から学校を大事に思ってもらえるような場所の名前を付けてほしい」という校長からのネーミング募集に取り組む。児童が「これからも多くの人から大事にされる名前」、「より多くの人の思いや願いが込もった名前」に意識を向けることができるようにする。

その後、校内の玄関や校庭の階段、芝生の中から、まずは玄関に自由に名前を付けてみる。校長から助言をもらい、「どんな名前がよい名前なのか」に意識を向けさせる。多くの名前には、思いや願い、そのものの特徴（様子、色、形、さわり心地、用途等）が表れている。自分や友達の名前の由来から、名前には思いや願いが込められていることに気付かせる。自分で生き物やキャラクターに名前を付けた経験を振り返ることで、名前はそのものの特徴（様子、色、形、さわり心地、用途等）を表していることが多いということも確認する。

これらの活動を通して、「たくさんの人に大切に使ってもらえる名前を考える」という課題意識をもつことができるようにする。そして、児童とやりとりしながら学習計画を立て、単元名を付ける。それによって、学習への興味・関心を高め、見通しをもって、主体的に学習に取り組めると考えた。

　【親しむ】

親しむ段階では、まず、前時に設定した学習課題「たくさんの人に大切に使ってもらえる名前を考える」を受けて、名前を付ける場所（玄関や校庭の階段、芝生）に対する自分の思いや願いを書き出す。次に、友達や教職員にその場所に対する思いや願いについてインタビューを行う。インタビューを通して、児童は他者の思いや願いを意識する。どのような思い出や願いをもっているのかをより多く取材することで、自分だけではなく周りの多くの人の思いや願いも込めた名前に繋がると考えた。

　　そして、取材した思いや願いをグループで共有し、場所の特徴（様子、用途等）、多くの人の思いや願いを表す言葉を複数の言葉に言い換えながら探す。その後、複数の言葉の候補の中から、言葉の正誤、適否、美醜を吟味して、まずは個人で名前を考える。その後さらに、グループで話し合い、よりよい名前を考えて決める。同じ願いであっても名前（言葉）が違うことに気付き、自分自身の感じ方を意識することができる。「願いがより伝わるためにどの言葉がよいのか」、「言いやすく覚えやすくなっているか」「場所の特徴が表れているか」等を見直し、言葉の吟味が展開されることをねらいたい。グループでよりよい名前を考えた後に、応募用紙に名前とその理由や願いをまとめ、ネーミング募集に応募する。

単元の終末には、言葉の働きとともに改めて自分の言葉の使い方を見つめ直せるよう、振り返りの活動を設定した。名前（言葉）には思いや願いを表す働きがあり、同じ場所であっても表現される言葉は様々である。自分が込めたいと思った願いやイメージを名前（言葉）に表すことができたか、自分の言葉の使い方を捉え直す機会としたい。

　【生かす】

　　　単元の終了後には、言葉の伝わり方を意識し、興味・関心をもって生活する姿を期待する。本単元では「名前には、思いや願いを表す働きがある」「同じ思いや願いを基にした言葉であっても様々な表現が生まれる」ということへの気付きを重ねる。そこから、言葉の伝わり方を意識したり、「この言葉でよいのかな」と立ち止まって考え、言葉を選んだりしながら生活する児童の姿を期待したい。

(2)児童の学びの向上につながる評価と指導の一体化

　【自己評価】

毎時間、記述による振り返りを行う。第３・４時は学習活動と今後に向けての２観点、それ以外は言葉（名前）についての観点を加えた３観点の振り返りを行い、児童が自身の変容を意識できるようにする。

　【座席表型評価補助簿】

　　　座席表型評価補助簿を活用し、一人一人の学習状況を把握する。前時までの評価を記録し、予想される児童の姿や本時の支援計画を書き込み、指導に生かす。

**５　単元計画**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 過程 | 時 | 学習活動 | 指導事項 | 評価規準◆　評価方法★ |
| 出  合  う | 課外 | ○開校記念日の話を聞く。  ○ネーミングの募集のポスターを見る。 | | |
| １ | 名前とネーミングを意識する。  ○ネーミングクイズをする。  ○玄関に名前を付けてみる。  ○付けた名前について校長から助言をもらう。 | ・名前には、様々な由来があること。 | ◆場所やキャラクターに付けられた名前に関心をもって、名前を付けようとしている。　　　主①  ★発言・学習シートへの記述・学習感想 |
| ２ | どんな名前がよい名前か考える。  ○校長の思いや願いを基に、気付きを出し合う。  ○親しんでいる自分や友達の名前、地名等から、名前の特徴を捉える。  ○自分で名前を付けた経験を振り返る。  ○気付いたことを出し合う。 | ・多くの人に長く親しまれる名前は、言いやすい、覚えやすいという特徴があること。  ・名前はそのものの特徴を表したり、思いや願いを込めて付けられたりすること。 | ◆名前は、人々の思いや願い、特徴を表していることや、言いやすさ覚えやすさを考慮して付けられていることに気付いている。知①  ★発言・学習シートへの記述・学習感想 |
| ３ | 課題を設定し、学習計画を立てる。  ○前時までの気付きを基に、学習課題を設定し、学習計画を立てる。  ○名前を付ける場所の様子を調査する。 | ・前時までの学習を振り返り、学習計画を立てること。  ・名前を付ける場所の特徴（様子や用途）をとらえた名前を付けること。 | ◆名前を付けることに関心をもって、学習計画を立てようとしている。主②  ★発言・学習シートへの記述・行動観察・学習感想 |
| 親  し  む  親  し  む | ４ | 名前を付けるために、友達や教職員にインタビューする。  ○名前を付ける場所について、友達や教職員に、その場所をどう思うか、これからどうなって欲しいかを、インタビューする。 | ・インタビューした思いや願いをメモすること。 | ◆校内の人々の場所に対する思いや願いに関心をもって、取材しようとしている。主③  ★インタビューの行動観察・学習感想 |
| ５  本時 | インタビューしたことを整理し、名前を付ける。  ○その場所の特徴や、思いや願いを整理する。  ○名前を考える。  ・場所への思いや願い  ・その場所の特徴  ・言いやすさ、覚えやすさ  ○グループの友達と紹介し合う。 | ・その場所を特徴付ける言葉や思いや願いを生かした名前を付けること。  ・声に出して心地よいかを吟味すること。 | ◆思いや願い、特徴を考慮した言葉を選び、言いやすさ、覚えやすさを確かめながら名前を考えている。知②  ★学習シートへの記述・学習感想 |
|  | ６ | 名前を決め、紹介し合う。  ○グループで、言葉を言い換えながらよりよい名前にする。  ○付けた名前と理由を他グループに紹介し、質問や助言をもらう。 | ・声に出して心地よいかを吟味すること。  ・互いの考えた名前が思いや願いに合っているか、言葉の感じはどうか話し合うこと。  ・「思いや願いの込められた名前」「特徴を表した名前」「言いやすい名前」「この先も残したいと思える名前」という基準で選ぶこと。 | ◆思いや願いが伝わるようにより適した言葉を探したり選んだりしている。知③  ★行動観察・学習シートへの記述・学習感想 |
|  | ７ | 学習のまとめと振り返りをする。  ○付けた名前と理由について、応募用紙を書く。  ○言葉の働きについて考える。 | ・自分自身の普段の言葉遣いを意識し、言葉の使い方について考えること。 | ◆言葉の働きを意識して、自身の言葉の選び方や使い方を考えようとしている。主④  ★行動観察・学習シートへの記述・学習感想 |
| 課外 | ○応募する。（決定・発表は３月を予定） | | |
| 生  か  す | 単元後 | 〇言葉の伝わり方を意識し、興味・関心をもって生活する。  〇言葉を使うときに、この言葉でいいかなと、少し立ち止まって考え、言葉を選ぶ。 | | |

**６　本時の学習（５／７時間目）**

(1) 本時のねらい

校内の場所に、人々の思い・願いやその場所の特徴、言いやすさを考慮した名前（愛称）を付ける。

　(2) 本時の展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学　習　活　動 | 指　導　事　項 | ◆評価　★評価方法　○指導上の留意点 |
| １　これまでの学習を振り返り  学習課題と学習計画を確認する。  たくさんの人に長く使ってもらえる名前を考えよう  ２　よい名前の要素を確かめる。  ３　名前を付ける。  (1)例を基に名前の付け方を考える。  ＜名前の付け方＞  ①場所の特徴、収集した思いや願いをグループで確かめる。  ②自分で名前に入れたいキーワードを考える。  ③考えたキーワードをグループで出し合う。  ④キーワードを言い換えながら名前に入れたい言葉を考える。  ⑤場所を表す言葉を加えて名前を付け、声に出して確かめる。  ⑥複数の名前を考える。  （④⑤を繰り返す）  ⑦名前を一つに絞る。  (2)自分の選んだ場所に名前を  付ける。    (3)グループの友達に付けた名  前とその理由を紹介する。  ４　本時の学習を振り返り、今後の見通しをもつ。 | ・「場所への思いや願い」「その場所の特徴」「言いやすさ、覚えやすさ」を基にして名前を考えること。  ・思いや願いが伝わりやすい言葉かどうかや、声に出して心地よいかを吟味すること。  **〇　十分に満足できる児童の姿**  その場所らしさと願いを兼ね備えた名前を付けている。  **〇　概ね満足できる児童の姿**  その場所らしさが分かる（伝わる）名前を付けている。  →言葉を言い換えて、その場所らしさと思いや願いを兼ね備えた名前を考えてみるよう助言する。  **○　概ね満足できる状況を目指す児童の姿**  場所の様子や雰囲気に合わない名前を付けている。  →長い名前を付けている児童には、言葉を絞るように促す。  →思いや願い、その場所の特徴が伝わりにくい名前を付けている児童には、思いや願い、特徴を別の言葉に言い換えてみるよう促す。 | 〇多くの人の思いや願いを基に、「たくさんの人に長く使ってもらえる名前を付ける」という目的を確かめることができるようにする。  ○第２時の学習を想起させたり、教室の掲示物を参照させたりする。  〇具体例として、全員で４年３組教室の名前を考えながら、名前の付け方の共通理解を図る。  〇学習の手引き（名前の付け方、場所を表す言葉の例）を提示し、参考にすることができるようにする。  ◆思いや願い、特徴を考慮した言葉を選び、言いやすさ、覚えやすさを確かめながら名前を考えている。知②  (★行動観察・学習シート・学習感想) |